

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																	
山脇美術専門学校		昭和51年6月1日		落合 三喜		〒 102-0074 (住所) 東京都千代田区九段南4-8-21 (電話) 03-3264-4020																	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																	
学校法人山脇服飾美術学院		昭和22年11月17日		清水 カツ子		〒 102-074 (住所) 東京都千代田区九段南4-8-21 (電話) 03-3264-4020																	
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																
文化・教養	美術専門学校		ビジュアルデザイン科		平成29(2017)年度	-	令和 5(2023)年度																
学科の目的	グラフィックデザインやWEBデザインなどビジュアルデザイン分野に従事しようとする者に、企業等と連携の上で専門性の高い知識及び技術・技能を修得させるとともに感性豊かな即戦力を育み社会に貢献出来る人材を輩出する事を目的とする。																						
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	グラフィックデザインやWEBデザインの幅広い分野を学修し、Webデザイナー検定、DTP検定、ウェブ解析士などの資格取得を目指している。また学生自身が就職活動用に作品集(ポートフォリオ)を作成しており、広告代理店や印刷会社、デザイン会社への就職を目指している。																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技															
3年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	3,150 単位時間	180 単位時間	420 単位時間	180 単位時間	0 単位時間	2,370 単位時間															
			〇〇 単位	〇〇 単位	〇〇 単位	〇〇 単位	〇〇 単位	〇〇 単位															
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率																	
120 人	71 人		0 人		0 %	1 %																	
就職等の状況	■卒業者数(C)		28 人																				
	■就職希望者数(D)		22 人																				
	■就職者数(E)		18 人																				
	■地元就職者数(F)		18 人																				
	■就職率(E/D)		82 %																				
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		100 %																				
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		64 %																				
	■進学者数		0 人																				
	■その他																						
	求職活動中の者5名。卒業生のうち1名は非正規雇用(アルバイト)																						
(令和 6 年度卒業者に関する令和7年10月14日時点の情報)																							
■主な就職先、業界等																							
(令和6年度卒業生)																							
広告代理店、印刷会社、デザイン事務所など。																							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載  評価団体: 〇〇〇〇 受審年月: 〇年〇月 評価結果を掲載したホームページURL 〇〇〇〇																						
当該学科のホームページURL	https://yamawaki.ac.jp/introduction/visual/																						
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A:単位時間による算定) <table><tr><td rowspan="7">総授業時数</td><td>総授業時数</td><td>3,150 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>126 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>42 単位時間</td></tr><tr><td>うち必修授業時数</td><td>2,562 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>126 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>0 単位時間</td></tr></table>								総授業時数	総授業時数	3,150 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	126 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	42 単位時間	うち必修授業時数	2,562 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	126 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位時間
	総授業時数	総授業時数	3,150 単位時間																				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		126 単位時間																					
うち企業等と連携した演習の授業時数		42 単位時間																					
うち必修授業時数		2,562 単位時間																					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		126 単位時間																					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間																					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位時間																					
(B:単位数による算定) <table><tr><td rowspan="7">総単位数</td><td>総単位数</td><td>〇〇 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数</td><td>〇〇 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の単位数</td><td>〇〇 単位</td></tr><tr><td>うち必修単位数</td><td>〇〇 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数</td><td>〇〇 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の単位数</td><td>〇〇 単位</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)</td><td>〇〇 単位</td></tr></table>								総単位数	総単位数	〇〇 単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	〇〇 単位	うち企業等と連携した演習の単位数	〇〇 単位	うち必修単位数	〇〇 単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	〇〇 単位	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	〇〇 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	〇〇 単位	
総単位数	総単位数	〇〇 単位																					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	〇〇 単位																					
	うち企業等と連携した演習の単位数	〇〇 単位																					
	うち必修単位数	〇〇 単位																					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	〇〇 単位																					
	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	〇〇 単位																					
	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	〇〇 単位																					
教員の属性(専任教員について記入)	<table><tr><td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td><td>3 人</td></tr><tr><td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td><td>1 人</td></tr><tr><td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>計</td><td>4 人</td></tr></table> <table><tr><td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td><td>4 人</td></tr></table>								① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	0 人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	3 人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	1 人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人	計	4 人	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	4 人	
	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	0 人																					
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	3 人																					
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人																					
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	1 人																					
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人																					
	計	4 人																					
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	4 人																					

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本学は建学の理念である「美と創造の精神」の完成を目指し、豊かな情緒と個性的な想像力を身に付けた人材の育成を教育目標としている。この目標達成のために、基礎から専門に至る知識・技術を体系的に修得させる教育課程を編成する。また、業界の最新動向を継続的に把握しながら各企業で即戦力として活躍できる高度で実践的な能力を養成することを重視している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は学校長のもとに設置し、本校の教育課程や職業実践、企業連携に関する事項を検討し、意見・要望を提言する諮問機関としての役割を担う。委員会で出された意見・要望は、教務課が担当部署として具体的な検討を行う。その結果は、学科長と教務課所属長が調整・協議したうえで学校長の許可を経て最終決定され、実際の学校運営に反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
山田 祐照	一般社団法人日本空間デザイン協会 理事	令和7年4月1日～令和9年3月31日	①
田崎 冬樹	横浜美術大学美術学部美術デザイン学科 准教授	令和7年4月1日～令和9年3月31日	②
伊藤 庄平	株式会社シロクロ	令和7年4月1日～令和9年3月31日	③
左 知子	株式会社HASAS	令和7年4月1日～令和9年3月31日	③
樋口 誠	株式会社ネオタイト建築計画	令和7年4月1日～令和9年3月31日	③
相庭 聡	株式会社ケイ・ウノ	令和7年4月1日～令和9年3月31日	③
臼井 康祐	株式会社スーパーギルド	令和7年4月1日～令和9年3月31日	③
落合 三喜	山脇美術専門学校 学校長(全体会委員長)	令和7年4月1日～令和9年3月31日	—
中沢 しのぶ	同 ビジュアルデザイン科 科長(分科会委員長)	令和7年4月1日～令和9年3月31日	—
篠原 一郎	同 教務課 部長(ビジュアルデザイン科 講師)	令和7年4月1日～令和9年3月31日	—
田中 晶子	同 教務課 専任(ビジュアルデザイン科 助手)	令和7年4月1日～令和9年3月31日	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月6日 15:00～17:00

第2回 令和7年2月25日 15:00～17:00

上記の2回を実施

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

#### 第1回

- ・シラバスの内容は改善されつつあるが、学生の自己PRや自主性の弱さが課題。
- ・就職活動については、学生の視野が狭く行動に移せない現状がある。
- ・業界動向では、スキルや技術だけでなく人間性の重要性が指摘された。
- ・校外活動や学外見学の増加など取り組みを行っている。
- ・山脇祭の視察では、コンパクトな環境の良さと、反面、自立できない学生の存在が確認された。
- ・退学理由の多さ、入学動機の多様化など課題が指摘された。
- ・ブランディングの検討、コース/クラス編成の見直し、選択授業の拡充など、今後の必要対策があげられた。

#### 第2回

- ・ポートフォリオ制作の早期化と品質向上に取り組む。
- ・講師側のアップデートや若手講師の確保が課題。第一線で活躍する若手講師を起用することで、学生の感覚に合った指導が可能。
- ・金融教育の導入などキャリア支援の強化が必要。就職講座に金融教育を取り入れ、経済的な意識付けを行う。
- ・就職担当の体制強化やキャリアカウンセラーの活用を進める。求人開拓や学生の企業理解の向上の強化も必要。
- ・出席扱いや課題代替などの制度化でインターンシップ参加を促進し、企業との接点を増やことで就職につなげていく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

「職業教育に係る連携授業の実施に関する内規」に基づき、以下の2点を目的とした教育を実施する。

①関連分野の職業に対する勤労観の醸成および継続的な学習意欲の向上。

②専門分野の実務に必要な知識、技術、技能の修得または向上。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

本授業は、以下の項目に基づき、企業等と連携して実施する。

①事前の確認・共有

講義・実技指導の内容、および学生の学習成果を測る評価指標について、事前に学校(授業科目の担当教員)と企業担当者で協議・確認を行う。

②授業の運営と指導

授業運営は、企業担当者と授業科目の担当教員が連携して行う。企業担当者より、専門性の高い助言や実践的な技術指導を受ける。

③学習成果の評価

評価は、企業担当者からの評価と助言を取り入れ、以下の項目に基づき総合的に行う。

「進行チェック時における成果物の完成度」、「テーマ設定とプレゼンテーション資料の充実度・完成度」、「企画プレゼンテーションの発表内容」

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
タイポグラフィ	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	印刷をテーマとした様々な展示を行う印刷博物館で、書物や活字、歴史や文化、印刷技術などを学ぶ。 また、活版印刷機の実習では実際の印刷技術を学ぶ。	印刷博物館
特別講義・H.R.・見学3	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	Webに関する知識・理解を深めることを目的とし、『2年Webデザイン基礎』『2年進級制作』『3年Webデザイン』『3年卒業制作企画』の授業内容と連動した内容の講義とする。 デザイナーに必要な知識を身につけるとともに、インプットした情報を整理し、アウトプットする能力を養う。	株式会社シロクロ
デザイン概論2	5. その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	実践でオフセット印刷の魅力を体験することを目的とする。昭栄印刷株式会社のDTP事業部の担当者とのデータ入稿に関する条件確認と学生への告知。入稿後の工場からのpdf確認と校了指示。印刷後のデータ上の問題点と学生への共有。複数の紙での印刷確認、蛍光色やシルバーインクなど校内の簡易印刷ではできない特色の色校正までの貴重な経験を実践する。	昭栄印刷株式会社
課題研究	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	デザイン業界への就職の準備段階として、デザイナーに必要な知識を身につけ、理解を深めることを目的とする。担当講師と企業の講師が、事前打ち合わせを行い、講義の内容について定める。事前アンケートで学生の興味やニーズを集計した上で、『売れるデザイナーになる20(ハタチ)のルール』をテーマに、デザイン業界の話を幅広く講義いただく。就活に役立つ内容とする。	株式会社BIGBAN

### 3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「山脇美術専門学校教員研修内規」に則り、教員に対し現在就いている教育職又は、将来就くことが予想される教育職に係る職務の遂行に必要な知識、技能等を修得させ、その遂行に必要な教員の能力及び資質の向上を図ることを目的とする。教員に対する研修の必要性を把握するとともに、教員の自己啓発の意欲を発揮させるように配慮し、研修計画に基づく研修を実施する。

研修の参加については、職務内容や経験年数を考慮したうえで、学校長が指示する。

#### (2)研修等の実績

##### ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	キャリアエージェント特別セミナー	連携企業等:	株式会社モトヤ
期間:	令和6年4月4日(木)	対象:	ビジュアルデザイン科
内容	1) パッケージの知られざる現場と、そこに関わるデザイナーに大切な 7つのこと 2) 未来の可能性の広げ方 ～ キャリア理論から読み解く 自分の価値の高め方 ～		
研修名:	21_21 DESIGN SIGHT企画展「ゴミうんち展」 先生のための展覧会ガイド	連携企業等:	21_21 DESIGN SIGHT
期間:	令和6年10月16日(水)、11月14日(木)	対象:	ビジュアルデザイン科 の教職員
内容	企画展「ゴミうんち展」について、企画担当者による教職員向けの解説が行われた。本展では、身の回りから宇宙までを見渡し、さまざまなゴミや排泄物を扱っている。ゴミと排泄物を含む世界の循環を「pooploop」と捉え、これまで目を背けてきた存在にもう一度向き合うとともに、世界の循環に向き合う実験の場となっている。様々なデザイナーやアーティストが参加し、「循環」の可視化を試みる。		

##### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	実践行動学セミナー「夢現実のための実践行動学」	連携企業等:	一般社団法人 実践行動学研究所
期間:	令和6年6月27日(木)	対象:	全教職員
内容	学生の夢の実現、目標達成に必要な心の在り方や達成の技術と技能を身に着ける。		
研修名:	アサーティブコミュニケーション ～ 自他尊重のコミュニケーション～	連携企業等:	公益財団法人東京都私学財団
期間:	令和7年1月14日(火)	対象:	全教職員
内容	様々な教育現場の教職員とグループワーク、ロールプレイングを行いアサーティブコミュニケーションを学ぶ。 アサーションの方向性、アサーション3つの表現、人間関係8つの憲法、レベルに応じた主張法など。		

### (3) 研修等の計画

#### ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	21_21 DESIGN SIGHT企画展の先生のための展覧会ガイド	連携企業等:	21_21 DESIGN SIGHT
期間:	令和7年4月から令和8年3月の間	対象:	ビジュアルデザイン科の教職員
内容	21_21 DESIGN SIGHTにて開催される企画展について、企画担当者による教職員向けの解説を受ける。学生の校外授業(見学)の際にフィードバックをおこなう。		
研修名:	デザイナー向けAdobeアプリケーション関連のセミナー	連携企業等:	株式会社Too
期間:	令和7年4月から令和8年3月の間	対象:	全教職員
内容	Adobe PhotoshopやAdobe Illustratorなど操作に関すること、作業効率上がる最新の情報提供など、具体的なデモンストレーション交えながらのセミナーなど。		
研修名:	Webデザインやグラフィックデザインに関連するセミナー	連携企業等:	各種団体や企業が主催
期間:	令和7年4月から令和8年3月の間	対象:	ビジュアルデザイン科の教職員
内容	Webデザインやグラフィックデザインに関わる、最新情報やスキルアップを図るセミナーやワークショップなど。		

#### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	PSAフィードバック講習会	連携企業等:	株式会社ヒューマン・キャピタル・コンサルティング
期間:	令和7年7月下旬	対象:	全教職員
内容	PSAパーソナリティ診断を学生に実施し、診断結果をもとに自身の個性を理解し、活かし方のヒントを得る。一方で教職員は、学生指導の精度を高めるための手がかりとして活用し、学生とのより良い関係性を築く方法を学ぶ。講習後には意見交換会を行い、具体的な指導や対応方法について教授する。		
研修名:	メンタルヘルスサポート、コミュニケーション、コーチング研修など	連携企業等:	各種団体や企業が主催
期間:	令和7年4月から令和8年3月の間	対象:	全教職員
内容	コミュニケーションやメンタルヘルスケアに関わる研修やセミナーに1～2回受講予定。		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため、学校が自己点検・自己評価を行う。実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価を行うことが目的となる。また卒業生・企業・業界団体等の学校関係者を選任し、自己評価結果についての改善に向けた専門的な助言を受け、組織的・継続的な改善を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	(2)学校運営(3)事業計画(4)運営組織
(3)教育活動	(8)教育活動(9)教育方法・評価等
(4)学修成果	(10)成績評価・単位認定等(13)学習成果(14)資格・免許の取得率
(5)学生支援	(11)資格・免許取得の指導体制(16)学生支援(18)学生相談(19)学生生活
(6)教育環境	(22)施設・設備等(23)学外実習・インターンシップ等(24)防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	(25)学生の募集と受け入れ
(8)財務	(28)財務(29)予算・収支計画(30)監査(31)財務情報の公開
(9)法令等の遵守	(32)関係法令、設置基準等の遵守(33)個人情報保護
(10)社会貢献・地域貢献	(36)社会貢献・地域貢献・国際交流
(11)国際交流	(36)社会貢献・地域貢献・国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者より「どのような資格・免許が取得できるが、そのためにどのような指導がなされているかを発信するとよい。」との意見をいただき、ホームページへの分かり易い表現の工夫をしたほか、学校案内などの広報媒体への積極的な掲載に努めることとした。評価の低かった施設・設備について、経年劣化に対する安全対策に努め、トイレ・階段などのユニバーサルデザイン化を検討したい。また地域貢献のために「山脇ギャラリー」の活用について検討したい。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
久保寺健郎	九段振興組合 理事	令和7年4月1日～令和10年3月31日(3年)	地域等委員
松尾貴之	株式会社スピリッツ プロデューサー	令和7年4月1日～令和10年3月31日(3年)	企業等委員
今川清信	杜陵印刷株式会社 課長	令和7年4月1日～令和10年3月31日(3年)	企業等委員
須藤加代子	会社員	令和7年4月1日～令和10年3月31日(3年)	卒業生等

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: <https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/07gakkokankeishahyoka.pdf>

公表時期: 令和7年3月1日

(別途、以下の資料を提出)

\* 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2

\* 自己評価結果公開資料

\* 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教職員による学校の理念・目標に照らして自らの教育活動を評価した「自己評価」、及び「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に対応した項目を公開することにより、企業等の学校関係者から有益な助言を得ること教育の質的な向上を図る。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	1, 学校の概要、教育目標
(2) 各学科等の教育	2, 教育方針と各学科の教育
(3) 教職員	3, 教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	4, キャリア教育と就職支援、職業実践教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	5, さまざまな教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	6, 学生生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	7, 学費と経済的な支援
(8) 学校の財務	8, 財務情報
(9) 学校評価	9, 学校評価
(10) 国際連携の状況	〇〇〇〇〇
(11) その他	〇〇〇〇〇

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: <https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/yamawaki-basic-information.pdf>

公表時期: 令和7年10月22日

(別途、以下の資料を提出)

\* 情報提供している資料

(備考)

・用紙の大きさは、日本産業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7、8についても同じ。)



授業科目等の概要

#REF!	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		#####			企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			基礎デッサン	主に鉛筆と水溶性絵の具を使用し、モチーフを描写する。課題ごとに講評会を行い、自分の描いたものを客観的に判断し、クラスメイトの作品を見ることにより表現の幅を知る。	1通	84				○	○				○	
2	○			デザイン技法1A	アナログ表現に必要な道具の使い方、色彩イメージや配色形式などの知識・技術を体得する。色彩が人に与える印象やビジュアルイメージを知り、デザインに活かせるようにする。課題ごとに講評会を行い、客観的な視点を身に付ける。	1通	84				○	○				○	
3	○			デザイン技法1B	主に紙を用いた立体造形の基礎演習と、写真撮影の基礎に関する講義・演習及び立体作品の撮影。道具の使い方や丁寧なものづくりの基本を身につける。	1通	84				○	○				○	
4	○			デザイン概論1	ディスカッションや美術館見学を交えながら、美術とデザインの歴史、デザインの役割などについて学ぶ。デザインの目的やデザイナーの仕事、デザイナーの社会的役割を理解する。ビジュアルデザインの可能性を広く学び、横断的に見渡す力を身につける。	1通	84		○			○				○	
5	○			イラストレーション1	色彩表現や平面表現方法を、実験を繰り返しながら習得する。発想力と表現する方法を身につけ、伝わる表現を考える。様々な画材・技法を試し、表現の幅を広げる。	1通	84				○	○				○	
6	○			企画発想演習	リサーチ、観察、メモ、ブレインダンプ、言語化、カンブ制作、プレゼンテーションなど企画発想に必要なとなる考え方と方法を体験する。目標、キーワード、コンセプトを設定し、デザインアイデアを様々な展開する。一連のデザイン企画立案のプロセスを学ぶ。	1通	84				○	○				○	
7	○			P C演習 A	Adobe Illustratorの基礎的な使い方をマスターする。Adobe Illustratorを使ったデザインがスムーズにできることを目指す。	1通	84		△	○		○				○	
8	○			P C演習B	Adobe Photoshopの基本操作、基本機能、画像加工・補正技術の習得を、演習を通して行う。	1通	84		△	○		○				○	
9	○			グラフィックデザイン1	ビジュアルコミュニケーションの基礎技術を学ぶ。Adobe IllustratorとPhotoshopを用いた平面での造形や画面構成などを行う。	1通	84		△		○	○				○	
10	○			総合学習 1	オリエンテーション、ビジュアルデザインに関連する企画展等の見学～レポート作成、授業課題の作成、就職活動（ポートフォリオ作成等）を行う。	1通	84			△	○	○	○			○	
11	○			就職講座 1	就活に関する基礎的な準備資料を早期に完成させる。経団連の新卒採用調査1位のコミュニケーションスキルを基礎、デジタル、実践、チームビルディングの観点から学ぶ。	1通	27		○	△		○				○	
12	○			進級制作 1	1年次で学んだスキル（イラストレーション、写真、タイポグラフィ、レイアウトなど）の集大成として、紙一枚のデザイン（B1ポスター）を企画デザインし、入稿まで行います。	1後	##				○	○				○	
13	○			課外授業	前期：入学式、ガイダンス、研修旅行、学生作品展 後期：山脇祭、卒業・進級制作展、卒業式など	1通	60				○	○	△	○			
14		○		イラストレーション2A	身の回りのもの、人々、日常生活での出来事のかたちにする訓練を行う。テーマに沿った表現方法を追求し、尚且つ、共感を得られるイラストレーションを制作する。用途のあるものにイラストレーションを組み込む。	2前	42			△	○	○				○	
15		○		イラストレーション2B	身の回りのもの、人々、日常生活での出来事のかたちにする訓練を行う。テーマに沿った表現方法を追求し、尚且つ、共感を得られるイラストレーションを制作する。用途のあるものにイラストレーションを組み込む。	2後	42			△	○	○				○	
16		○		立体イラストレーションA	任意の動物・昆虫を造形テーマとして選び、生活で見られる様々な素材を使い制作する。制作したものを撮影し、任意の展示会DMに落とし込む。	2後	42				○	○				○	
17		○		立体イラストレーションB	任意のフィギュアと自分をモチーフとして組み合わせ立体構成する。制作したものを撮影し、任意の展示会DMに落とし込む。	2後	42				○	○				○	
18		○		ブックデザイン	本の成り立ち・製本や編集など一連の知識とともに、ブックカバー（装丁）を中心としたデザイン展開の学習課題を通じて、ブックデザインの可能性と表現方法を学ぶ。	2後	42			△	○	○				○	
19		○		タイポグラフィ	書籍、広告など情報を伝達する手段となる「文字」を学ぶ。文字における知識、文字を組む事、文字組を主体とした紙面設計を論理と実践の両面から学ぶ。	2前	42		△	○		○				○	○
20		○		クリエイティブプランニング	独自のデザインコンセプト（視点、目的）を、どの様なターゲット（いつ、どこで、誰にむけて）に、どの様に伝えるか（表現方法、デザイン、アイディア）を検討する。様々な手法でデザインプラン（企画）としてまとめ、考えを伝える演習を行う。	2後	42				○	○				○	
21		○		ブランディングデザイン	ブランディングデザインの考え方と流れを理解する。コンセプト作りから各種ツールデザインまで、一貫性のあるブランドメッセージと世界観を作り込む。	2前	42		○		△	○				○	
22	○			デザイン技法2	製図、紙工作、製本、版画、デッサン、写真撮影など、様々な表現方法や技術を実際に手を動かして体得しスキルを高める。動画制作の基礎知識と方法を学び、演習を行う。	2通	84		△		○	○				○	
23	○			Webデザイン基礎	HTML、CSS及びWebデザインの基礎を学習し理解する。Figmaを使用してWebサイトを作成する。	2通	84		△		○	○				○	
24	○			課題研究	紙のポートフォリオと進級制作（Webポートフォリオ）作成のための、下準備や作品のブラッシュアップを行い、就職活動に備える。	2後	42				○	○				○	

25	○			デザイン概論2	様々なデザインの業界や仕事内容を学び、デザインの目的やデザイナーの仕事、デザイナーの社会的役割を理解し、就職活動に繋げる。	2 前	42			○		○				○	○
26	○			パッケージグラフィック	食品や生活用品のパッケージを制作する。リサーチ、分析によって商品に必要な要素を学び制作に活かす。	2 通	84		△	○		○				○	
27	○			エディトリアルデザイン	雑誌等ページものの誌面デザインを、編集的な観点で組み立てる考え方を学ぶ。Adobe InDesignの基礎技術を学びデザイン制作する。	2 通	84			△	○	○				○	
28	○			写真広告	写真を通して商品広告を作成するプロセスを学ぶ。	2 通	84		△		○	○				○	
29	○			研究制作2	授業課題、コンペ参加など、各自テーマを定め制作を行う。就職活動準備やポートフォリオ作成、また見学や授業のフォローなども行う。	2 通	84			△	○	○			○		
30	○			特別講義・HR・見学2	オリエンテーション、ビジュアルデザインに関連する企画展等の見学～レポート作成、授業課題の作成、就職活動（ポートフォリオ作成等）を行う。	2 通	84			△	○	○				○	
31	○			就職講座2	就活に関する基礎的な準備資料を早期に完成させる。自己PR、志望動機、業界職種研究、履歴書完成に向けて、自分自身の特性の理解や業界職種の知識を深める。	2 通	27		○	△		○				○	
32	○			進級制作2	Figmaを使って、自分の作品をまとめたWebポートフォリオを作る。テーマ、構成を設定し制作するとともに、企画～最終まで3度のプレゼンテーションを行い、伝える力の向上も目指す。	2 通	##					○	○			○	
33	○			課外授業	前期：入学式、ガイダンス、研修旅行、学生作品展 後期：山脇祭、卒業・進級制作展、卒業式など	2 通	60					○	○	△	○		○
34		○		イラストレーション3	様々なアナログ画材を使った実践的なイラストレーション技術を学びイラストレーションを活かしたグッズ制作を行う。自分なりの表現を習得する。	3 通	84					○	○			○	
35		○		写真表現	撮影技術の向上と、見学やディスカッションを通して表現や読み取る力を磨き、見せ方も含めてプロの現場で通用する知識・スキルを身に付ける。	3 通	84		△			○	○			○	
36		○		広告パッケージ	商品コンセプトから商品のデザイン、広告までパッケージに関わる広告戦略を制作を通じて学ぶ。商品企画（マーケティング）がパッケージ制作だけでなく複数の媒体にまたがって行われていることを知り、人の目をとめる商品には何が必要か考える。	3 通	84					○	○			○	
37		○		セールスプロモーション	化粧品や菓子、文具などの店頭ディスプレイ什器やSPツールの制作を行う。	3 通	84		△	○			○			○	
38		○		Webデザイン応用	Webデザイナーとして、開発者と円滑なコミュニケーションを取れるようになるための知識を習得する。基本的なHTML、CSS、CMSを学ぶ。Figmaでデザインしたサイトをコーディングできるようになる。	3 通	84			△	○	○				○	
39		○		エディトリアルデザイン	雑誌などのページものの誌面デザインを、編集的な観点で組み立てていく考え方を学ぶ。Adobe InDesignを仕事の現場で役立てられる、より高度な技術を身につける。	3 通	84			△	○	○				○	
40		○		アートディレクション	身の回りの数値や情報を視覚的に捉え直し「見える化」する。情報を収集・整理・構築・具体化するためのコミュニケーションデザインの手法を順序立てて学ぶ。	3 通	168			△	○	○				○	
41		○		Webデザイン	Webのトレンドや知識を蓄積しながら、Figmaを使用してPCおよびSPサイトのレイアウトを制作する。	3 通	168			△	○	○				○	
42	○			グラフィックデザイン3	商業施設の広告、ロゴ・CI に特化した講義及びコンペティションの応募のための実践作業。コンセプトを言語化し形にしていくプロセスを理解する。	3 通	84		△			○	○			○	
43	○			研究制作3	授業課題、コンペ参加など、各自テーマを定め制作を行う。就職活動準備やポートフォリオ作成、また見学や授業のフォローなども行う。	3 通	210			△	○	○			○		
44	○			卒業制作企画	3年間の学習の集大成として各自テーマを定め、自分なりの表現やスタイルを追求し制作・プレゼンテーションを行う。コンセプトをまとめ、企画をプレゼンテーションし、実制作の準備を行う。	3 後	42					○	○			○	
45	○			特別講義・HR・見学3・就職講座3	オリエンテーション、ビジュアルデザインに関連する企画展等の見学～レポート作成、授業課題の作成、就職活動（ポートフォリオ作成等）を行う。 「就職講座3」 各自の課題を明確にして、課題に応じた対策をとる。個人模擬面接など。	3 通	84			△	○	○	○			○	○
46	○			卒業制作	3年間の学習の集大成として各自テーマを定め、自分なりの表現やスタイルを追求し、制作・プレゼンテーションを行う。	3 後	150					○	○			○	
47	○			課外授業	前期：入学式、ガイダンス、研修旅行、学生作品展 後期：山脇祭、卒業・進級制作展、卒業式など	3 通	60					○	○	△	○		
合計						47	科目	3738 単位（単位時間）									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 出席率が80％以上であること、課題の提出が100％であること、学年の全科目の成績が60点以上であること、学費等納付金が完済であること。		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 1年生は必修授業1050時間、2年生は必修授業882時間・選択授業より4科目168時間、3年生は必修授業630時間・選択授業の選択1(アートディレクション・Webデザイン)より1科目、選択2 (Webデザイン応用・エディトリアルデザイン)より1科目、選択3 (イラストレーション3・写真表現・広告パッケージ・セールスプロモーション) より2科目の420時間を履修する。		1 学期の授業期間	18 週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。